

英単語を“理解”しよう

しなければならない (**have to** ~ **must** ~) を使い分ける

- **have to**
- **must**

あなたは上の **2** つの単語を区別して使えていますか？

中学校ではどれも、「～しなければならない (～しなければならない)」として習っているはずですが。

ですが、同じ言葉、同じ意味を表すのであれば **1** つにしてしまってもいいはずですよ。

例えば **must** と **have to** が同じなら、一方の単語は存在しなくても **OK** ということです。

でも、面白いことに単語は存在します。

ということは、単語自体にやはり違いがあるんですよ。

さあ、早速ですがその違いを紐解いて行きましょう。

【 have to 】

「～しなければならない！」という英文では定番の連語表現ですよ。 「～しなければならない」で間違いはないのですが・・・もう一言加えるとより理解が深くなりますよ。では、**have to**～の覚え方を見て行きましょうか。

→ **have to** → (背中を押されて) しなければならない

覚えましたか？ **have to** は「しなければならない」では覚えなくて下さいね。「(背中を押されて) しなければならない」になりますよ。

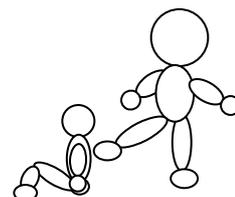
I have to help host mother.

上の英文を中学生が訳すとこんな感じでしょうか。

「私はホストマザーを手伝わなければならない」

確かに間違いではありません。間違いではないのですが、何か感情が伝わって来ませんよね。こんな訳を試してみたらいかがでしょうか？ ((背中を押されて) しなければならない) を使って訳してみますね。

「私は(あまり積極的ではないのですが・・・)ホストマザーを手伝わなければならない」こんな感じになります。わかりますか？ この英文を話している人の気持ちがなんとなくわかってきたのではないのでしょうか？そして“(背中を押されて)”の意味もおわかりいただけたのではないのでしょうか。



have to というのは辞書で調べても「～しなければならない」と表記してありますが、やはりこの言葉を使うのは人間ですから、その人間の気持ちが優先されます。**have to** を使って英文を作ったヒトは、“気は引けるけど”という感情を少なからず持っていることに気がきますよね。

ですが、何もイヤイヤ動作をする場合にだけ使うものではありません。

背中を押すものは人間の心理だけではないですよ？時間もそうです。例えば・・・

I have to go to station.

ほら！何がこの人を押していますか？電車に乗るためには時間に間に合わなくてはいけませんよね？駅へ向かう時間が自分の背中にドサッ！と覆いかぶさっている感じがする。やはり、“背中を押されて”いる状態ですよ。

have to はいつでも (背中を押されて) しなければならない というイメージを持っていますよ。

では、**must** はどうなのでしょうね・・・ ↓

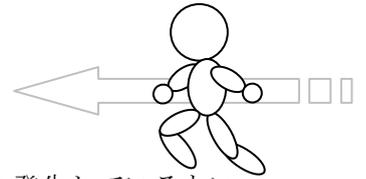
【 must 】

have to との書き換え問題でよく出題されます。あなたはきっと機械的に覚えているはずで
す。**have to** の言い換えは **must** だぞ～！ってね。でも、それ本当ですか？
単語が違うと言うことは、英文の中身だって違って来るはずなんですよ。では、**must** に
ついて見ていきましょう。

must はこのように覚える！ ↓

→ **must** → (自分の心から・積極的に) しなければならない

have to とは全く違うイメージ・意味であることがわかりますよね？
確かに「しなければならない」という部分だけを見れば同じですが。



must は「～しなければならない」と思う気持ちが常に自分の心の中から発生しているとい
うことがポイントです！

have to の時に例文として出した

I have to help host mother. と比べてみましょうか。

I must help host mother.

おそらく中学校の定期テストでは「**have to** を言い換えて () に入る1つの単語を考え
なさい。」と出てくるでしょう。この問題は本当に定番ですから覚えておいて損はありません
よ。ですが、今は損得で話はしません、**have to** と **must** の違いをはっきりさせましょ
う。

I must help host mother. を訳すと「私は(心から喜んで・自らすすんで)ホストマザーを助
けないといけないんだ！」になります。

こんな風に言われたらホストマザーも嬉しいですよ。

have to との違いはたった1箇所です。積極的なのかルールの行動なのか です。
例文を見て判断出来るようになりましょうか。 ↓

次の文を書こうと思ったときに、あなただったら **have to** と **must** のどちらを使いますか？

- 1-学校の校則により髪を短く切らなければならない。
- 2-テストが近くなってきたし、点数も上げたいので勉強をやらないといけない。
- 3-待ち合わせの時間が来たので、今いる場所を離れなければいけない。
- 4-目標を達成するためには、多くの練習をしなければならない。

have to と **must** の意味の違い・イメージの違いを理解したあなたであれば、どの文でどちらの単語を使うべきか、すでにお分かりなのではないでしょうか？

答えは・・・

1-have to

2-must

3-have to

4-must

いかがでしたか？

ここで大切なことを書いておきますね。

学校では・・・

次の文を内容がほぼ一致するように書き換えなさい。

I have to help my mother.

I () help my mother.

のように、出題されることが非常に多いです。

これは **have to** や **must** に限ったことではありません。

しかし、勘違いをして欲しくないのは“一致”ではなく“**ほぼ一致**”ということです。

学校の先生はある程度、教える範囲やルールがあり、この違いまで教えるように指導されていません。ですので、テストでは“ほぼ一致”という書き方をします。“ほぼ一致”ということは裏を返せば“一致していない”ということになりますからね。

これを読んだあなたは、もう 長文や会話文を読むときに、発言者の気持ちがあつかめるようになります。それが本当の会話文だと私は思います。今までの中学校での教え方は会話文ではなく、やはり意味の伝わらない、ただの英文になっていると私は思います。

大切なのは話すヒトの感情・気持ちを理解することです。